



市教育委員会は、26年度からの10年間に取組む基本的な方向性を定めた「交野市学校教育ビジョン」を策定しました。

これは、小・中学校の連携と学校・家庭・地域が協力し合って、急激な変化が予想される社会環境に対応できるよう、「情（こころ）の育み☆変化する力・変化に対応する力の育成」を基本理念に、取り組んでいくものです。

このビジョンに基づき、豊かな情（こころ）を育む教育の推進や、「確かな学力」の育成を旨とする教育の推進について、現在、実施している具体的な取り組みをご紹介します。

※「交野市学校教育ビジョン」は、ホームページ（http://www.city.katano.osaka.jp/docs/2014031400034）で閲覧できます。
問い合わせ 指導課（TEL 810・0522）

情の教育実践支援事業 ピアサポーターの配置

26年4月から、市教育センターに臨床心理士「ピアサポーター」を配置しています。ピアサポーターは児童・生徒に対し、人間関係づくりや集団づくりの取り組みとして、教職員と一緒に「アドベンチャーカウンセリング」を実施しています。これは児童・生徒が、自尊心、規範意識の向上、共感し分かち合う精神や協同性を育むための取り組みで「豊かなこころ」と「確かな学力」を身に付けることを目的としています。

アドベンチャーカウンセリングの活動

「体験学習」「野外教育」「グループカウンセリング」の手法を統合したものです。プログラムは簡単なゲームから始まり、他者と協力しながら進めていくように考えられています。この活動を通じて、個人やグループが達成感・協力関係を体験できるようになっています。



ピアサポーター

子どもたちの会話を聞いたとき、とてもうれしく思いました。この活動は、ただ遊んでいるように見えることもありますが、子どもたちは子どもなりに、何かを感じながら遊んでくれているんだなと思えました。

この活動は子どもが自分たちで考えて、自分たちに必要なことを実際の行動に移していくことを大切にしているため、効果を感じるまでにとっても時間がかかります。うまくいかないことを積み重ねて、自分はどうなふうに行動すればいいかを、体験を通して学んでほしいと思います。

学校図書館支援事業 学校司書の配置

子どもには、読書の楽しさや本の素晴らしさ、本を使って調べ、学ぶことを教える専門的な知識を持った人の存在が極めて重要です。




参加無料

子ども読書推進活動 支援員養成講座

学校などで子どもに本を読むための基本となる、「選書」について学びます。

とき 9月12日（金）午前10時～正午
ところ 倉治図書館2階 視聴覚室
対象 市内在住・在勤・在学で興味のある人
テーマ 「本を選ぶことー子どもたちに届けるために」

講師（一財）大阪国際児童文学振興財団 主任専門員 土居安子さん
定員 70人程度（定員を超えた場合は調整します）
申し込み 市内各図書館（室）
※学校関係者は、学校を通して申し込んでください。
問い合わせ 青年の家図書室（TEL 893・4881）



少人数学級の整備

小学校中学年になると授業時数が増加し、学習内容が高度になります。また、学習や学級での人間関係のつまずきから、不登校などの長期欠席や人間関係のトラブルが増加する傾向がみられます。

ICT機器の整備

21年度から全国に先駆けて小・中学校の普通教室に整備された、デジタルテレビやパソコンなどのICT機器を、授業で有効に活用しています。今後も、より充実した授業となるよう、各校・各教員が工夫していきます。

英語指導助手の配置

カナダから招いた4人の英語指導助手（ALT）を各中学校区に配置しています。ネイティブの発音、文化や考えの違いに児童・生徒が直接触れることで、国際理解・異文化理解につながることも、「コミュニケーション能力」の向上を図ります。

健康の教育と管理

歯のブラッシング指導などの実施により、疾病などの未然防止・早期発見・治療勧告に努めています。また、栄養教諭を中心に、食育に関する指導を推進し、学校給食を生きた教材として活用していきます。

教職員研修の充実

近年の教職員の大量退職・大量採用に伴い、市でも経験の浅い教職員が急増しています。そのため、市教育センターと連携し、より実践的で専門性の高い研修を実施しています。また、25年度に実施した国語科「専門研修講座」に引き続き、26年度は道徳や理科に拡大し、「指導力」「教師力」の向上を旨とします。

